JOYO BANK NEWS LETTER

2025年10月21日

〈企画展〉「北茨城市所蔵 蛭田二郎彫刻展」—常陽史料館—

常陽銀行(頭取 秋野 哲也)は、このたび、常陽史料館(館長 髙橋 博明)において、「北茨城市所蔵 蛭田二郎彫刻展」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。北茨城市出身の彫刻家・蛭田二郎さん(岡山市在住)は茨城大学卒業後、彫刻家・小森邦夫(1917~1993)に師事しました。岡山大学で教べんをとりながら日展に出品を続け2005年より日本芸術院会員となります。へらなどで大胆に肌を荒らす独特の造形が生み出す愁いやぬくもりをたたえた人物像で、詩情あふれる作品世界を表出しています。

今展では北茨城市所蔵作品から厳選した優品をご紹介いたします。

記

企 画 展 :「北茨城市所蔵 蛭田二郎彫刻展」

出品者:蛭田二郎

会 期 : 2025年11月11日(火)~2026年1月10日(土)

休 館 日 :毎週日・月曜日、12月28日(日)~1月5日(月)

開館時間:10:00~17:00

会 場 :常陽史料館 アートスポット (入場無料)

以上



Ritaibaraki City Collection / Jiro HIRUTA Sculpture Exhibition Kitaibaraki City Collection / Jiro HIRUTA Sculpture Exhibition 北茨城市所蔵

常陽史料館 入場無料 ^{茨城県水戸市備前町6-71} 開館/am10:00~pm5:00 2025.11/11 四

2026.1/10 休館日/每週日曜日·月曜日、 12月28日 ②~1月5日 ②

彫刻展



Kitaibaraki City Collection / Jiro HIRUTA Sculpture Exhibition



告 知 (1996年 46×54×162cm ブロンズ)

野刻展工工



七つの子 (1990年 115×55×100cm 石膏)

■撮影:大谷一郎

蛭田二郎 JIRO HIRUTA プロフィール

1933年 茨城県多賀郡関本村 (現北茨城市関本町) に生まれる

1957年 第12回 茨城県美術展覧会茨城県市町村教育委員会連合会長賞

1958年 茨城大学教育学部卒業

第6回 日彫展に初入選(以後出品)

1963年 日本彫刻会会員となる(04年理事、08年理事長、11年常務理事、25年顧問)

1965年 第8回 新日展初入選(以後出品)

1966年 第9回 新日展にて特選(翌年も、68年菊華賞)

1970年 日展会員となる (90年評議員、02年理事、06年常務理事、13年顧問)

1972年 岡山大学教育学部講師となる(翌年助教授、79年教授、95年名誉教授)

1975年 県立県民文化センター開館十周年記念 茨城県秀作美術展

1984年 現代茨城の美術展 (茨城県立美術博物館) 出品

1989年 現代茨城の美術展 (茨城県近代美術館) 出品

1995年 倉敷芸術科学大学芸術学部長となる (04年名誉教授)

1996年 第28回 改組日展にて文部大臣賞

1997年 第49回 岡山県文化賞

1998年 山陽新聞賞(文化功労)

2002年 日本芸術院賞

岡山県文化特別顕彰

第35回 岡山県三木記念賞(文化功労)

2005年 日本芸術院会員となる

2014年 茨城県特別功績者表彰

2016年 蛭田二郎彫刻ギャラリー開館(北茨城市)

他、個展、グループ展出品等

現 在 日本芸術院会員、日展顧問

日本彫刻会顧問、岡山大学名誉教授

倉敷芸術科学大学名誉教授



-長い髪の女 -受胎告知B- (1981年 90×70×73cm 石膏)







貨幣ギャラリー

貨幣や銀行に関する資料を展示しております。

史料ライブラリー

郷土の芸術・文化や金融、歴史に関する図書資料をご覧になれます。



JR水戸駅北口より、大工町方面行きバスで泉町1丁目下車徒歩7分

Tel.029-228-1781

The Joyo 常陽史料館

